

席田小学校夏休み歴史体験教室実績

平成 24 年 8 月 3 日（金）に、船来山古墳と柿の館、陶芸館にて、席田小学校主催の歴史体験教室を開催しました。当日は 18 名の児童と、保護者、語りべボランティアの計 29 名が参加しました。



品がたくさん出土しました。今回は、これらのガラス玉になぞらえて、思い思いの玉を作りました。

ガラスの原料は、石英、水晶、紫水晶、方鉛鉱などと言われています。これらの宝石や鉱物を粉にするなどし、高温で溶かしてガラス作りは行われたようです。大変高い技術が必要とされ、一個 1 個のガラス製品が貴重ですが、船来山古墳群からは、なんと 3000 点以上のガラス玉が出土しています。

参加児童は、古墳と柿の館で船来山古墳群の歴史と、出土品の見学、ガラスづくりの歴史を勉強し、思い思いの作品を作りました。今回は、安全性から、お湯で練りあめのように柔らかくなる素材を活用し、古代のガラス作りになぞらえて整形しました。色々な色を組み合わせ、参加児童オリジナルの素敵な作品が完成しました。

東海地方最大級の古墳群「船来山古墳群」では、石室を赤く彩色する「赤彩古墳」が発見されています。石室を彩色するということは、九州に起源があるのではないかといわれ、大変珍しいものですが、岐阜県で確認されている赤彩古墳 5 例のうち、なんと 3 例が船来山古墳群からまとまって発見されています。またこれらの 3 基の赤彩古墳は、船来山の中でも「郡府山」という字名の地区の同じ尾根から近接して出土しています。この赤彩古墳の中からは、日本製ではないといわれている「雁木玉」や「トンボ玉」など、大変珍しい副葬品がたくさん出土しました。今回は、これらのガラス玉になぞらえて、思い思いの玉を作りました。

